



# 8階級制覇

## 令和4年度天皇杯全日本レスリング選手権大会

令和4年12月22日(木)から25日(日)までの間、「令和4年度天皇杯全日本レスリング選手権大会」が東京都世田谷区の駒沢オリンピック公園総合体育館で実施された。自衛隊体育学校からは第2教育課レスリング班、高谷大地2等陸尉以下35名(フリースタイル16名、グレコローマンスタイル14名、女子フリースタイル5名※集合訓練生1名含む)が出場し、8階級において優勝した。

また、各スタイル1名にしか与えられない優秀賞を、フリースタイル部門で2020東京五輪金メダリストの乙黒拓斗2等陸曹(フリースタイル65kg)が受賞した。

### Freestyle 65kg 乙黒2曹 圧巻! 全試合無失点の完全勝利

少し動きが悪かったが、2試合目から本来の動きで、まずまずの出来でした。しばらく試合はしていなかったけど練習で力がついたかなと思います。決勝は強気でいきたいです。」と臨んだ決勝戦は、U23世界選手権第3位の安楽龍馬選手(nobitel)と対戦し、4-0で勝利。全試合を無失点というパーフェクトな内容で優勝した。ディフェンスもさることながら、相手の隙をついて一気に攻め込む闘いは健在で、将棋の如く先を読んでいるのか、その場の反射神経が神がかりなのか、圧巻の攻撃力だった。

試合後、乙黒2曹は「強い相手にも勝ち切れて良かったです。試合にむけての緊張感など、どんどん楽になっていきました。今後の取り組み方、修正・改善することなどを整理して、6月(※)にもしっかり勝ち切りたいです。大事な大会を1つずつクリアし、その先にオリンピック2連覇があると思います。」と落ち着いた表情で語った。

### Freestyle 74kg 高谷2尉 2連覇通算3度目の優勝

直後に相手のタックルにより2点を奪われた。しかし、高谷2尉は相手にリードを許した状況においても冷静に対応し、相手の隙をつき2点を追加、3-2で第1ピリオドが終了した。第2ピリオドは、ポイントを取り返そうとする相手の攻撃を堅い守りで阻止し、試合残り1分にタックルを決め更に2点を追加し5-2で優勝を決めた。

試合後、高谷2尉は「昨年と同じ相手ということで、自分の成長が確認できると思いました。落ち着いて冷静に分析しながら戦うことができ、また試合をしてみて自分に力がついたことを実感しました。試合前のコンディションは、様々な方のサポートにより完璧に上げることができ、その方々のためにも勝つことでやってきたことが間違いないことを証明するんだという気持ちでした。」とパリ五輪出場に向けてメンタル面の成長を見せた。

### Freestyle 86kg 石黒2曹 2年ぶり2度目の優勝

入隊1年目の石黒隼士2等陸曹は、準々決勝・準決勝を堅実に勝ち決勝に進出した。相手は、今年度79kg級世界選手権代表で今大会階級を上げてきた高橋夢大選手(日本体育大学)との対戦となった。

試合は、石黒2曹が序盤から強いプレッシャーを掛け、高橋選手のパッシブ(消極的姿勢)で2点を先取、残り1分に相手のタックルを切り、返し技でさらに2点を追加した。その後2点を奪われるも最終4-2で2年ぶり2度目の優勝を果たした。

試合後、石黒2曹は「世界の86kg級で勝つことを目標にやってきたけど、今大会の内容はよくありませんでした。減量や試合という要素がその原因かと思いますが、やってきたことをパフォーマンスとして出すことができませんでした。現在は最高の練習環境、コーチ陣でレスリングに取り組むことができていますので、もっと圧倒的に強くならなければならないと思います。」と語った。

1年4か月ぶりのマットに立った東京オリンピック金メダリストの乙黒2曹は、準々決勝、準決勝と10-0のテクニカルフォールで勝利し、力の差を見せた。「1試合目は



2024パリ五輪出場へ始動した乙黒2曹



2連覇を達成した高谷2尉



決勝のマットに上がる石黒2曹

